

## <白金標準、投機抑制での4桁の価格水準は強気維持・・・>



(出所：オアシス)

CME グループ、中国黄金取引所、上海先物取引所、大阪取引所は投機抑制の動きを示す証拠金引き上げを実施している。そのため NY 白金も金やシルバーの歴史的な急落を受け、1882 ドルまで下値を模索するなど高値 2925 ドルから比べると 1043 ドルの下落を行っている。しかしトランプ政権は、中国のレアアースの輸出規制を受け、重要鉱物の備蓄を開始しており、2022 年に重要鉱物の指定を受けているプラチナやパラジウムには強気の要因である。また 6 日から南アフリカのケープタウンでアフリカ最大の鉱物投資会議が開催される予定であり、PGM（プラチナ・グループ・メタル）に対する楽観的な見方が出る可能性は高く、強気の要因でもある。また EU はウクライナ侵攻に対する新たな対ロシア制裁の一環として、ロシア産プラチナ族金属（PGM）数種と銅の輸入禁止を検討していることが、事情に詳しい関係者により明らかになっており、需給要因では 2000 ドルを下回る可能性は低くなっていると思える。特に白金標準先物は、8662 円、8700 円で下げ渋ると 10000 円を回復するなど、9000 円以下は短時間しか存在しない値動きを見せている。そのため 4 桁は買いの域であり、5 桁に向けた値動きが定着する可能性は高まると思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋り、**シグナル** も下げている。RCI では**短期**が切り上げ、**長期**も下げている。ただ日足と指数平滑移動平均線のレンジを下回っており、11000 円を回復するまでは往来相場に注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 3,198,000 円(2026 年 2 月 9 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 118,800 円(2026 年 2 月 9 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>